

令和7年度行政評価 施策評価シート （令和6年度実績）

施策名 森林保全

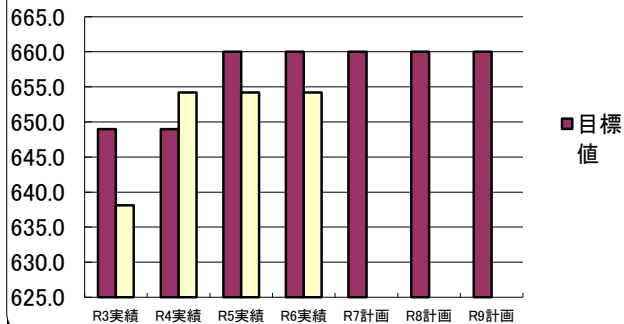
				施策コード	5010302
1. 施策の担当					
主管課		生活産業部 農林水産課			
関係課					
2. 総合計画における位置づけ					
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり（活力・賑わい）	節	第3節 産業	
	施策	森林保全			
基本方針					
<ul style="list-style-type: none">・森林の公益的機能が充分に発揮できるよう、保安林事業をはじめ森林保全のため事業を継続的に実施していきます。・放置森林対策について関連団体を通じて意見を集約するとともに、新たなる森林管理制度と併せて、多様で健全な森林の整備を図ります。					
現況と課題					
<ul style="list-style-type: none">・森林の持つ公益的な機能を発揮するための国土の保全や山地災害の防止は、森林所有者や地域の理解を得て継続的に事業の促進を図っていく必要があります。・国内産の木材価格の低迷に伴う需要の減少から、放置された森林が増大しており、対策が求められています。・森林所有者の総合的な意見の集約や要望等が具体的に把握できていないため、森林所有者の意識調査等を実施する必要があります。					
施策目標					
対象（誰を、何を、どこを）					
市民					
意図（どのような状態にしたいのか）					
森林を保全することで環境を維持し、公益的な機能を発揮することで還元する。					

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	50.1	50.1					
重要度（偏差値）	49.5	49.5					

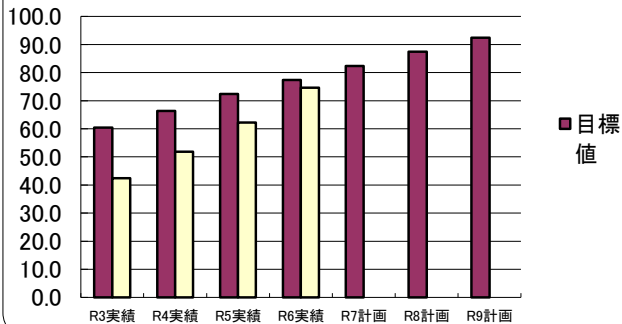
4. 施策にかかるコスト									
		単位	R5決算	R6決算					
コストの内訳	人件費	千円	6,528	6,682					
	事業費		15,719	31,198					
	フルコスト		22,247	37,880					
財源内訳	国庫支出金	千円	0	2,390					
	府支出金		112	109					
	市債		0	0					
	その他		10,739	18,520					
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		11,396	16,861					
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		4,868	10,179					

5. 施策の重要業績成果指標 (KPI)							
① KPI 1		保安林指定面積					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	649.0	649.0	660.0	660.0	660.0	660.0	660.0
実績値	638.1	654.2	654.2	654.2			
達成度	98.32	100.8	99.12	99.12			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
私達の環境を保全し、温室効果ガス削減吸収に役立つ森林は、健全な状態に保たなければなりません。保安林の指定を拡大していくことにより、事業導入が可能となり森林の保全に寄与するものである。よって、森林所有者の協力と理解を得ながら、これらの事業を推進していくものである。		大阪府の地域森林計画に掲げられている保安林指定面積に基づき、過去の実績から令和5年度までに約11haの増加を目標とし、さらに令和10年度までには、5年度毎の目標設定として、約11haの増加を目標として治山事業に関連する森林保全に取り組むものとする。			山地災害が全国的に多発している状況から、今後においても大阪府による治山事業が実施される見込みであり、令和4年度には土丸地区において区域指定（16.1ha）された。		
② KPI 2		間伐等促進面積					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	60.4	66.4	72.4	77.4	82.4	87.4	92.4
実績値	42.4	51.8	62.2	74.6			
達成度	70.2	78.01	85.91	96.38			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
平成29年度から大木地区で森林経営計画が立案され、また間伐等の森林施策が実施されたため、今後についても促進面積の増加が見込めるものとなった。よって放置森林を解消し、間伐等により森林を保全することで環境を維持することとなるため指標として設定した。		森林経営計画に基づき、目標値の見直しをした。令和5年度までに年6.0haの増加を見込み72.4haと設定し、さらに令和10年度までに年5.0haの増加を見込み97.4haと設定した。			令和6年度は大木地区の森林経営計画内にて森林整備（9.35ha）及び森林環境譲与税及び美しい森林づくり基盤整備交付金に伴う森林整備（3.04ha）を実施した。今後も間伐等の森林施策が実施されるため、促進面積の増加が見込めるものとなる。		
③ KPI 3							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
④ KPI 4							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		
⑤ KPI 5							
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値							
実績値							
達成度							
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠			目標達成・未達成の理由・背景		

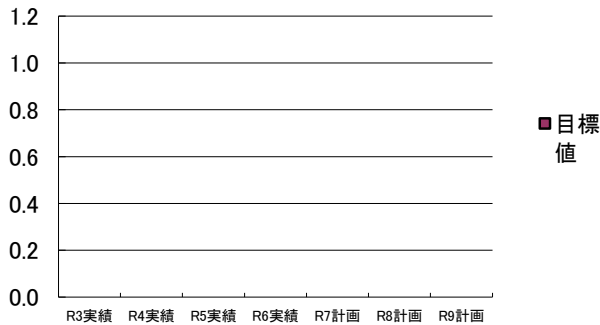
KPI①



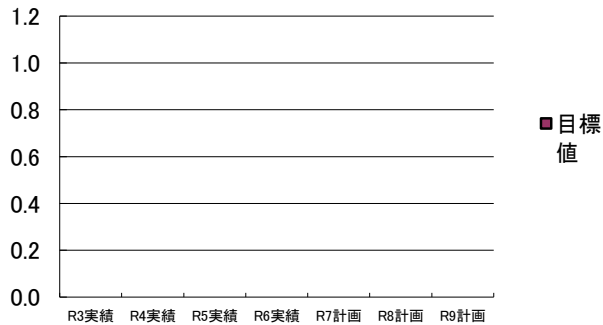
KPI②



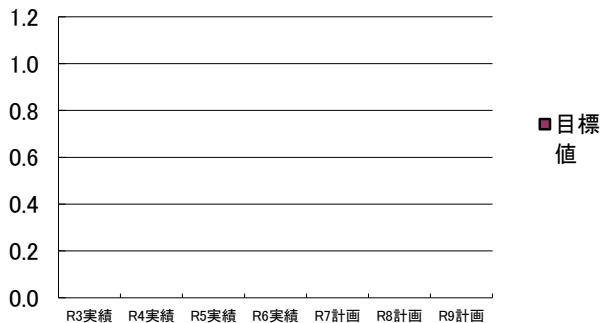
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 3	間伐面積については単年度目標が達成できなかったが、引き続き、森林経営計画や国の森林環境譲与税に基づき、年度ごとに森林整備を実施する予定である。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	昨今における自然災害の被害防止という観点からも、森林の適正管理が重要となってきている。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	大阪府の森林環境税（H28～）国の森林環境譲与税（R1～）の導入により近年ゲリラ豪雨による山地災害が全国的に多発している状況から、その財源を活用した防災の観点からの森林整備のニーズも高まっていくものと思われる。
	合計点	(10点中) 7点	
総合評価		B	大木地区では大阪府森林組合泉州支店による森林経営計画により、森林整備が行われた。また、国の森林環境譲与税導入に伴う新たな森林整備を上之郷地区で実施した。
二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）		B	満足度・重要度ともに中間水準である。今後、目先ではKPIの達成に努め、中・長期的には、具体的なニーズ対応に努められたい。
三次評価（理事者による評価）			

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01035700	林業振興対策事業	3,341	26,063	5,052	0	B
2	01035800	林道維持管理事業	3,341	5,135	5,127	0	B
合計			6,682	31,198	10,179	0	

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード		050102010	予算コード	01035700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名		林業振興対策事業			正規職員数	0.4	国庫支出金	2,390	有効性	山地災害の防止、水源涵養等の森林の持つ公益的機能の保全・向上を図るため、市民に理解を求めながら森林整備等の事業を継続的に実施することで、森林の適切な管理・保全に努める。	
担当課		農林水産課			嘱託職員数	0	府支出金	109	B		
根拠法令等		市単独事業 ■要綱・要領 泉佐野市林業事業費補助金交付要綱			臨時職員数	0	市債	0	効率性		C
					歳出(千円)	18,512	その他	8,393	妥当性		C
					人件費総額	3,341	一般財源	8,393	受益者負担		該当なし
							減価償却費	0			
							事業費	26,063			
事務事業類型		運営事業			フルコスト(千円)		29,404	緊急性	該当なし	事務事業実施内容	
実施手法		補助・負担			市民1人当たりコスト(円)		296		該当なし	①森林林業整備事業の調査等に関する業務 ②国定公園保全対策協議会関係事務 ③林業関係者同士の交流・情報交換 ④一般市民への森林・林業の普及活動	
対象					活動指標		R6実績	公的関与	A		
特定の市民		対象数			500	森林学習開催回数	1.0		A		
森林所有者や林業家					展示会開催回数	1.0	実施主体・委託化	A			
事業の内容					山地美化活動回数	1.0					
①森林整備事業の調査等に関する業務 ②国定公園保全対策協議会（公園区域内の森林保全及び清掃活動を中心とした山地美化キャンペーンを行っている）関係事務 ③林業関係者同士の交流・情報交換 ④泉佐野緑の少年団（市内の小学生を対象とし、植樹などの緑と触れ合う活動、緑の募金、森林学習等を実施） ⑤一般市民への森林・林業の普及活動							他の事務事業との関連	A			
					成果指標	R6実績	透明性	C			
					森林学習参加人数	40.0					
					展示会等参加延べ人数	500.0	財政健全化計画	該当なし			
					山地美化活動参加者数	50.0					
							財政健全化の取組	該当なし			
							改革改善プラン達成度	該当なし			
					コスト指標	R6実績					
					森林学習参加者1人当たりの経費	9,185.0					
事業の目的					展示会等参加者1人当たりの経費	180.0					
森林は市民生活に大きく寄与するものと考え、森林関連事業を多様的に実施することにより、林業全体の活性化を図るとともに、災害に強い地域づくりに努めていく。また、平成25年3月に制定された「泉佐野市木材利用基本方針」に沿って、今後は公共建築物や公共土木工事、備品や消耗品における積極的な木材利用の推進に努めていくこととする。					美化活動参加者1人当たりの経費	4,320.0					

事務事業コード				050102020		予算コード		01035800		従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価		一次評価		B			
事務事業名		林道維持管理事業		正規職員数		0.4		国庫支出金		0		有効性		B		林道（トンネル含む）の適切な維持管理を今後も継続して行う。					
担当課		農林水産課		嘱託職員数		0		府支出金		0											
根拠法令等		市単独事業		臨時職員数		0		市債		0		効率性		B							
		■条例・規則		歳出(千円)		8		その他		8											
		泉佐野市林道事業分担金条例		人件費総額		3,341		一般財源		8,468		妥当性		C							
								減価償却費		0		受益者負担		C							
								事業費		5,135											
事務事業類型		施設管理事業		フルコスト(千円)		8,476		緊急性		C		事務事業実施内容									
実施手法		一部委託		市民1人当たりコスト(円)		85															
対象				活動指標		R6実績		公的関与		A		林道の修繕料、トンネルの維持管理、林道の維持管理業務の執行、林道パトロール									
特定の市民		対象数		500		林道の要補修箇所		7.0													
府森林組合員や森林所有者等						不法投棄対応箇所		1.0		実施主体・委託化										B	
事業の内容						放置自動車箇所		0.0													
林道維持管理（災害発生時の初期対応含む）にかかる修繕費、災害復旧費、トンネルの維持管理（照明等）、林道の管理パトロール、大雨等の災害発生時の初期対応。						林道関係事務		7.0		他の事務事業との関連										B	
						点検業務		50.0													
						成果指標		R6実績		透明性		C									
						林道延長		35.5													
										財政健全化計画		該当なし									
										財政健全化の取組		該当なし									
						コスト指標		R6実績		改革改善プラン達成度		該当なし									
事業の目的				林道1km当たりの経費		245.9															
林道の維持管理事業を実施することにより、林道の利用において安全性を高め、森林・林業振興及び公共の福祉に寄与する。																					